

今年度最初の間考査も終わりました。結果はどうだったでしょうか。一息ついたところだと思います。こういう時にこそ本を読みましょう。

1年次生は授業で一度本の借り方を学び、一冊ずつ本を借りていますが、5月に入ってから本を借りている人がたくさんいます。図書館に近い2年次生は、他の年次と比べて川高図書館を利用する人が若干少ないようです。本を借りなくてもかまいませんので、昼休みなど、気軽に川高図書館に来てみてください。



【新任の先生より】

「天地明察」(沖方丁 著)

地歴公民科 三好 君人 先生



本屋大賞という賞があります。本が売れなくなってきた時代に、出版業界を盛り上げようということで、書店員の方々が中心となって作った賞だそうです。2010年の本屋大賞受賞作が「天地明察」です。舞台は江戸時代、実在した人物である渋川春海が苦労して日本独自の暦である貞享暦をつくっていく過程を描いた作品です。ストーリーも面白く、また江戸時代の武士の生活や窮屈な身分制度についても分かりやすく記述されています。何より、誰かが努力して何かを成し遂げていく物語は読む人にも力を与えてくれます。映画化もさ

れていますが、個人的には本の方が良かったです。さらに、彼を取り巻く登場人物、徳川光圀をはじめ、保科正之、山崎闇斎、関孝和など、日本史での重要人物が多く、歴史の理解を深めることができる一冊です。

この本は、書店に立ち寄った際に偶然見かけ、面白そうだったので購入しました。書店や図書館では、今まで知らなかった本との出会いがあります。現在多くの学校で朝の読書の時間が設けられています、せっかく朝の読書の時間があるのですから、高校生の間に自分の好きな本に出会ってほしいと思います。時間を作って、書店や図書館で探してみてください。

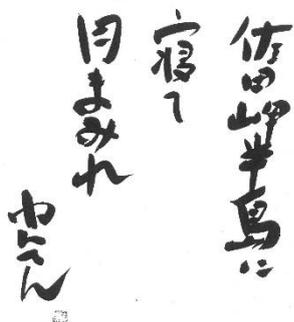


皆さんは坪内稔典さんの名前を聞いたことがありますか？本名は「としのり」ですが、「ねんてん」さんの愛称で親しまれています。



昭和19年生まれの伊方町九町出身の方で、この川之石高校を卒業されました。伊方中学校や、最近では二見小学校と統合した九町小学校の校歌の歌詞も坪内さんが作っておられるので、伊方町出身の皆さんにはおなじみの方ではないかと思えます。

現代俳句の代表作家の一人で、正岡子規の研究者としても知られています。俳句に関する著作も多数あり、川之石高校にも多くの句集やエッセイなどが寄贈されています。現在図書室入口左側の本棚にまとめて置かれています。一度手に取って読んでみませんか？



桜散るあなたも河馬（かば）になりなさい
父と子と西宇和郡のなまこ嚙（か）む
佐田岬半島に寝て月まみれ

〔4月 月間図書貸出冊数〕

〈クラス別〉

4月15日～4月30日

1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	合計
45冊	31冊	0冊	4冊	1冊	5冊	11冊	3冊	100冊

〈個人別〉

1位 6冊 吉本 陽向（1-1）
1位 6冊 清水 英磨（3-2）
3位 4冊 清水 美愛（3-1）



※図書の貸出だけでなく、昼休みや放課後の学習にも川高図書館をご利用ください。

本の無い家は窓の無い部屋のようなものだ。

ハインリヒ・マン（ドイツの作家／1871-1950）